



校長 佐々木 希久子

ふれあい月間

港区では、毎年6月、11月、2月をふれあい月間としています。港南中学校ではその時期に生徒にアンケートを実施したり、教員と二者面談をしたりしています。私もこれまで何人かの生徒と面談をさせていただきました。面談の際には、いじめを受けたり見たりしていないかということを確認するようにしています。



いじめはしてはいけません。そして、いじめを見過ごすことは絶対にしてはいけないことです。

いじめられた経験がある人に話を聞くと、多くの人は、「いじめられていたことはもちろん辛かったけど、周りの人に、見ているはずなのに見ないふりをされていたことがそれ以上に辛かった」と、話します。「やめなよ」の一言、「大丈夫？」の一言を待ち焦がれていたと言います。

「やめなよ」や「大丈夫？」の一言は簡単な一言です。困っていそうな人を見たら、さらっと言える。からかわれている人を見たら、ためらわずに言える。それが自分も周りの人も笑顔にする単純な、でも根本的なことだと思います。港南中生の皆さん、よろしくお願いします。

人権標語

12月号でもお伝えしましたが、12月10日の世界人権デー、人権週間の機会に人権について学びました。学習の成果として、人権の大切さを伝えるための標語を作成しました。ほんの一部ですが紹介します。

○いじめ発見 行動しよう 助けよう	○君がする 「見て見ぬふり」が 傷付ける
○あなたの口や手は人を傷付けるためにあるのではない 人を応援し助けるためにあるのです	
○分けられない いじめとからかい 境目は	○勇気出し 見て見ぬふりは もうやめる
○弱い人 いじめるあなた 弱い人	○いじめをね やってる方は みじめだよ
○考えて その行動の その先を	○認め合う 十人十色の 輝く個性
○次世代へ 残すな差別は 負の遺産	○世界中 違いがふつうの 環境を
○僕たちは “普通” じゃないと いけないの	○批判の声 言葉の重み 心の傷
○陰口で 変わってしまう 人の道	○相談は 命を守る ヘルメット
○立ち止まれ 消えた命は 戻らない	○知ることは 差別をなくす 第一歩
○この世界 あなたの普通 だけじゃない	○考えよう 画面の向こうの 相手の気持ち
○もうやめて 悲痛なさげび 届かぬ思い	○すぐ気付き 社会で守ろう 子供の将来
○分かっている? 相手の気持ち 少しでも	○言わないで その人の気持ち 考えて
○思いやり 一人一人を 大切に	○言葉は刃物 いじめは絶対ダメ 命は大事
○いじめをしている人は楽しそう だが自分がされたらどう思う 自分の行動考えよう	

学校では、いじめやいやがらせなど、他者を苦しめることはしないということを日常的に指導しています。今年度は、3年生の代表者が1、2年生の教室に訪れ自身が調べた人権に関するプレゼンテーションを発表するという学びの場を設けました。その成果で1、2年生の人権標語に良いものが多く見られました。

他者と接する際、一人一人が想像力を働かせて自分と異なる人の立場になってみることで、自分も周囲も笑顔にすることを心がけていくことが自他の人権を尊重する行為につながります。各自が考え、行動していくことが大切です。